

事業所名

児童発達支援事業 フェローONE

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		<b>【法人理念】</b> 私たちは 一、豊かで自立した人財に成長します 一、仲間として信頼しあい助け合います 一、情報技術を活用するプロ集団となります そして、社会とお客さまへ貢献します。	<b>【事業所理念】</b> ①誰も生まれてきた事に価値があるオンリーワンの存在 ②子どもも家族もスタッフも自分らしくあれるほっとできる場所 ③子どもとそこに関わる皆がワンチームでつくる共創型の支援				
支援方針		・親子通園型の事業所。ご家族との連携を大事に、その子の「好きな事」「得意な事」を大事に関わります ・楽しさの中に、分かりやすさを加えた「あそび」が活動の中心です ・小集団活動の中で、小さな「出来た！」を積み重ねられるように関わります					
営業時間		8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・清潔で子どもにとって分かりやすい活動スペースの中で、のびのびと見通しをもって過ごして貰えるように、毎日の清掃や整理整頓、環境の構造化を大事にします ・事業所内にて、食事、着脱、排泄等の直接的な支援に関しては基本的に行っておりませんが、ご家族からのご相談や本人の困り感に合わせて事業所内でも取り組んだり、そこに必要なスキルに結びつくようなあそびを日々の活動の中で提供します					
	運動・感覚	・子どもの発達段階に合わせて、感覚統合あそびを含んだ粗大運動や微細運動をあそびの中に取り入れ、全身の筋力やバランス力、調整力、手先の操作性の向上に繋がります -粗大運動あそび：サーキット、ボール、ぶら下がり等    -微細運動あそび：工作、ひも通し、ブロック等 ・様々な感覚あそびに触れ、五感を育む事を大事にします					
	認知・行動	・子どもの発達段階や興味関心に合わせた教材を提供し、まずは楽しくあそびに関われるようにする事を大事にします ・季節感を感じられるように、その月ならではのあそびを楽しめるようにあそびや教材を工夫します ・子ども自身が「できた！」と達成感を感じ、自信や活動意欲に繋がられるように、スモールステップで課題（あそび）に取り組めるようにします					
	言語 コミュニケーション	・まずは、子どもに関わる大人（ご家族、スタッフ等）が、本人にとって「伝えたい」と思える対象となるよう、本人に寄り添いながら丁寧に関わる事を大事にします ・ことばのみにこだわらず、視線、指差し、ジェスチャー等本人なりの発信を大事にし、「伝わった」経験を積んでいけるよう関わります ・本人にとって分かりやすい「伝え方」をあそびを通して探り、実践していきます（視覚支援含む）					
	人間関係 社会性	・あそびの中での親子間の愛着形成を大事にし、親子でコミュニケーションを楽しめた経験を積めるように関わります ・本人の興味関心を大事にしながら関わる事で、人に対する興味関心を育てます（スタッフの事も信頼し「一緒にあそびたい！」「伝えたい！」の意欲を育めるよう関わります） ・小集団活動においては、一人ひとりのペースを大事にしながら、他者との関わり方、集団の中での立ち振る舞い方を学んでいけるように関わります					
家族支援		・母子で一緒に楽しめる遊びを提供する中で、子どもとのあそび方や関わり方を学んで貰えるよう、親子に向き合います ・その都度子育て等の相談に乗り、悩み事の解決に向けてサポートします	移行支援		・子どもが地域の園及び小学校へ移行する際は、事業所で見られる本人の強みやサポートを必要とする部分等を先方にお伝えし、移行後も本人が安心して過ごせるよう関わります ・弊社運営の放課後等デイの利用を検討する方には、移行におけるサポートを行います		
地域支援・地域連携		・子どもが通う地域の園や事業所にも足を運び、状況把握や情報共有を行う事で、多面的に子どもを捉え、今必要な支援を考え実行します		職員の質の向上		・社内研修の実施（虐待防止、身体拘束適正化、感染症/自然災害BCP、避難訓練） ・事業所内スキルアップ研修の実施（2025年度は2か月に1回予定） ・外部研修や交流会への参加（都度） ・児発管等資格取得の支援あり	
主な行事等		・運動会（フェローグループ合同） ・秋祭り（フェローグループ合同） ・季節に合わせたあそびや課外活動（公園、お散歩、お買い物等）					